

令和3年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和3年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	公益財団法人盛岡市文化振興事業団		所管課	文化国際課
所在地	〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス5階			
電話番号	(019) 621-5102		設立年月日	平成9年10月15日
代表者	理事長 三浦 宏	☐ 常勤 ☒ 非常勤	☐ 市OB ☐ 市現職 ☒ その他	
設立目的	盛岡市における文化の振興を図ることにより、市民の心豊かな生活の実現に資することを目的とする。			
主要事業	① 音楽、舞踊、演劇、美術その他の芸術文化に関する鑑賞事業 ② 文化、歴史及び社会教育に関する教育普及事業 ③ 市民が行う文化活動の育成及び支援に関する事業 ④ 文化、教育等に関する調査研究、情報の収集及び提供事業 ⑤ 歴史、芸術、民俗等に関する資料収集、調査研究、保管、展示等の事業 ⑥ 生涯学習、社会教育の推進及び活動の支援に関する事業 ⑦ 文化及び社会教育関係施設等の管理運営事業 ⑧ その他事業団の目的を達成するために必要な事業			

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	
☒ ある (アドレス https://www.mfca.jp)	
☐ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) ☐ 作成予定なし	
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	
☒ 事業内容 ☒ 財務状況 ☐ 役員氏名 ☒ その他(定款、設立趣意書等)	
ホームページ以外での情報提供の方法	
情報誌「ぽけっと」、事業チラシ、Twitter	

3 職員構成

(単位:人)

			常勤			非常勤	合計	
			うち市OB		うち市派遣			
役員	理事		1	1	0	8	9	
	監事		0	0	0	2	2	
	計		1	1	0	10	11	
職員	管理職	正職員	7	2	0	0	17	
		臨時職員	10	—	—			
	一般職	正職員	8	0	0	0	68	
		臨時職員	60	—	—			
	計	正職員	15	2	0	0	85	
		臨時職員	70	—	—			
前年度と比較して職員数の増減			増	0	減	0	常勤職員の平均年齢	46.7 歳
常勤職員の給与体系								
☐ 法人独自の給与体系			☐ 市の給与体系を準用			☒ その他（一部市の給与体系を準用）		

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	100,000 千円	本市出資等額	100,000 千円	本市出資等割合	100.0 %
主な出資等者					
① 盛岡市	(出資等割合 100 %)				
②	(出資等割合 %)				
③	(出資等割合 %)				
④	(出資等割合 %)				
⑤	(出資等割合 %)				
令和3年度における当 市の財的関与の状況	補助金	103,640 千円	(収入全体の	12.1 %)	
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の	%)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	%)	
	指定管理料	595,879 千円	(収入全体の	69.5 %)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
① 財団総務管理費	(令和3年度予算額		83,226	千円)	
② 芸術鑑賞事業費	(令和3年度予算額		12,493	千円)	
③ 文化会館活動事業費	(令和3年度予算額		6,528	千円)	
④ 情報誌発行事業	(令和3年度予算額		1,393	千円)	
負担金・交付金内訳					
①	(令和3年度予算額			千円)	
②	(令和3年度予算額			千円)	
委託料内訳					
①	(令和3年度予算額			千円)	
②	(令和3年度予算額			千円)	
指定管理料内訳					
① 市民文化ホール指定管理料	(令和3年度予算額		158,889	千円)	
② 盛岡劇場・河南公民館指定管理料	(令和3年度予算額		89,870	千円)	
③ 都南文化会館・都南公民館指定管理料	(令和3年度予算額		89,154	千円)	
④ 渋民文化会館・渋民公民館・渋民図書館指定管理料	(令和3年度予算額		56,383	千円)	
⑤ 先人記念館指定管理料	(令和3年度予算額		61,200	千円)	
⑥ 原敬記念館指定管理料	(令和3年度予算額		23,651	千円)	
⑦ 石川啄木記念館指定管理料	(令和3年度予算額		22,866	千円)	
⑧ 盛岡てがみ館指定管理料	(令和3年度予算額		21,907	千円)	
⑨ 河南公民館指定管理料	(令和3年度予算額		23,789	千円)	
⑩ 都南公民館指定管理料	(令和3年度予算額		25,320	千円)	
⑪ 渋民公民館指定管理料	(令和3年度予算額		22,850	千円)	
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		(利用料金制を採用している施設 がある場合記入)	
		盛岡市民文化ホール・盛岡市都南文化会館・盛岡劇場・盛岡市渋民文化会館・盛岡市河南公民館・盛岡市都南公民館・盛岡市渋民公民館			
		利用料金収入(令和3年度予算額)		70,200	千円
		法人の収入全体の		8.2	%

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市民文化ホール・盛岡市都南文化会館・盛岡劇場・盛岡市渋民文化会館・盛岡てがみ館・原敬記念館・盛岡市先人記念館・盛岡市河南公民館・盛岡市都南公民館・石川啄木記念館・盛岡市渋民公民館
-------	---

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成30年度	令和元年度	令和2年度
①自主事業経費 (文化会館)	千円	計画	81,816	76,939	84,816
		実績	82,046	65,464	42,242
②指定管理施設 の利用料金	千円	計画	70,522	70,522	70,522
		実績	71,673	65,384	29,652
③施設管理費	千円	計画	691,413	691,413	691,413
		実績	696,093	679,183	642,165
④		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
収支の状況	総収入	1,054,569	1,026,805	963,364
	当期収入(A)	945,524	928,643	866,167
	基本財産運用収入	10	10	10
	会費収入(入会金収入を含む)	1,230	1,578	920
	補助金等収入	103,937	103,561	98,266
	うち市からの補助金等(B)	99,107	103,345	94,766
	事業収入(C)	822,515	819,839	761,510
	うち自主事業収入	128,856	114,817	43,875
	うち市からの委託料(D)			
	うち市からの指定管理料(E)	693,659	705,022	717,635
	繰入金収入			
	市からの借入金			
	その他の収入	17,832	3,655	5,461
	前期繰越額	109,045	98,162	97,197
	総支出	956,407	929,608	860,809
	当期支出	956,407	929,608	860,809
	人件費	292,002	285,366	285,703
	事業費(人件費除く)	653,413	631,230	565,110
	管理費(人件費除く)	3,532	3,448	3,772
	資産取得支出	7,460	9,564	6,224
	繰入金支出	0	0	
	その他の支出	0	0	

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
収支の状況	当期収支差額	-10,883	-965	5,358
	次期繰越収支差額	98,162	97,197	102,555
正味財産 の 状況	経常収益(F)	928,918	925,350	861,772
	経常費用	945,969	921,139	854,833
	当期経常増減額	-17,051	4,211	6,939
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
財産の状況	資産(G)	360,650	348,962	343,238
	うち固定資産	154,918	158,793	158,258
	うち流動資産(H)	205,732	190,169	184,980
	負債	133,209	118,014	105,931
	うち固定負債	21,569	20,928	19,152
	うち流動負債(I)	111,640	97,086	86,779
	正味財産(J)	227,441	230,948	237,307
	うち当期正味財産増減額	-17,628	3,507	6,359
財務指標	流動比率(H/I)	184.2	195.8	213.1
	自己資本比率(J/G)	63.0	66.1	69.1
	職員一人当たり収益高(F/(K+ 当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	10,801.4	10,886.5	10,020.6
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/C)	10.4	11.1	10.9
		84.3	85.9	94.2
組織の状況	常勤役員数(K)	1	1	1
	うち本市OB	1	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	85	84	85
	うち常勤職員数	85	84	85
	うち本市OB	9	8	8
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	18	18	17
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	0	0	9
	管理職員比率	21.2	21.4	20.0
	職員新規採用数	19	12	5
	うち常勤職員数	19	12	5
事業指標	① 盛岡市民文化ホール利用人数	243,601	222,786	58,302
	② 盛岡劇場利用人数	52,897	48,762	17,525
	③ 都南文化会館利用人数	68,593	60,113	17,466
	④ 洪民文化会館利用人数	20,234	19,448	9,237
	⑤ 先人記念館利用人数	11,410	12,252	5,610
	⑥ 原敬記念館利用人数	8,623	7,438	3,794
	⑦ 石川啄木記念館利用人数	9,127	9,260	4,746
	⑧ 盛岡てがみ館利用人数	5,784	5,886	2,808
	⑨ 河南公民館利用人数	32,335	30,348	11,710
	⑩ 都南公民館利用人数	87,847	82,268	33,370
	⑪ 洪民公民館利用人数	21,671	18,389	11,025

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
本市の財政的関与等の状況	補助金額			
	① 財団総務管理費	78,693	78,406	77,309
	② 芸術鑑賞事業費	12,685	14,018	9,537
	③ 文化会館活動事業費等	6,433	6,528	6,528
	④ 情報誌発行業務	1,296	1,393	1,393
	負担金・交付金額			
	①			
	②			
	委託金額			
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料			
	① 盛岡市民文化ホール指定管理料	259,371	265,910	277,465
	② 盛岡劇場・河南公民館指定管理料	88,452	90,011	88,217
	③ 都南文化会館・都南公民館指定管理料	87,550	88,846	88,453
	④ 渋民文化会館・渋民公民館指定管理料	58,566	56,040	54,867
	⑤ 先人記念館指定管理料	60,642	61,478	61,523
	⑥ 原敬記念館指定管理料	23,550	23,574	23,694
	⑦ 石川啄木記念館指定管理料	22,578	22,786	22,886
	⑧ 盛岡てがみ館指定管理料	20,660	21,649	21,883
	⑨ 河南公民館指定管理料	28,165	26,378	27,728
	⑩ 都南公民館指定管理料	19,132	25,614	27,694
	⑪ 渋民公民館指定管理料	24,994	22,737	23,225
	貸付金額			
	損失補償額			
	債務保証額			

令和2年度決算の概要

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響及び同感染症感染拡大防止対策をおこなったことにより、以下の影響があった。

- ① 自主事業の中止・延期の周知に係る追加費用の発生など、想定外の支出が増えた。
- ② 施設利用事業において、利用が大幅に低下し、減収となった。当初、減収分の補填が確定していなかった

ことから、修繕や備品の更新においては、対象を絞り込み、実行予定の一部を次年度以降に先送りした。

- ③ 同感染症感染拡大防止対策の一環として、ハンディ型サーマルカメラ及び非接触型体温計等を購入し、各管理施設に配備した。
- ④ 消毒作業に必要な消毒液や布巾等の消耗品の購入が多くなった。
- ・燃料費や光熱水費等の経費削減に努めたほか、利用者サービスの向上や、サービスの低下を招かないよう、公的なガイドライン等に基づき、可能な範囲かつ慎重に公益目的事業を行った。
- ・文科省の受託事業や助成金を積極的に獲得し、外部資金の導入に努めた。
- ・基本財産及び運用財産を適正に管理・運用し、健全な法人運営を行った。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

B	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント)平成30年度及び令和元年度は赤字であったが, 令和2年度は黒字転換した。また, 公益財団法人として基本財産及び運用財産の適正な管理, 運用に努め, 健全な法人運営を行っていると思われる。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和元年度決算において黒字である。		○
2	令和2年度決算において黒字である。	○	
3	累積欠損金がある。		○
4	令和2年度決算において減価償却前黒字である。		
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		
7	累積欠損金があるが, 対自己資本比率は50%未満である。		
8	累積欠損金があるが, 対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが, 対自己資本比率は100%超である。		

※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」